

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	江尻桂子(えじりけいこ) 清水由紀(しみずゆき)	所属	茨城キリスト教大学(江尻) 埼玉大学(清水)
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会 発達心理学基礎研究検討会〔通称：土曜研〕		
成果概要	<p>1) 参加人数(会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 60名(うち認定心理士 5名) 非会員 20名(うち認定心理士 5名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究会では、発達心理学研究の中でも、特に実証的研究、データに基づく実験・観察・調査研究に重点をおき、これらに従事する第一線の研究者をゲストにむかえた。そして最新の研究成果発表をもとに、参加者を交えた活発な議論を行った。 ・ホームページを開設し、これまでの開催概要および今後の開催予定について掲示している。 http://doyou.kt.fc2.com/index.html <p>②成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011年度は2回の研究会をお茶の水女子大学において開催した。各回、20人程度の参加者があり、院生も数多く参加した。なお、震災の影響により、2010年度予定分の研究会を6月まで行っていたため、今年度は後半秋以降からの研究会の開始となった。 ・ <u>第21回土曜研 2011年12月24日</u> 杉澤 武俊先生(新潟大学) 「発達研究のためのRによるデータ解析入門」 ・ <u>第22回土曜研 2012年3月3日</u> 松田佳尚先生(JST ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト 研究員) 「マザリーズを処理する親の脳活動：fMRIによる研究」 松井理直先生(大阪保健医療大学) 「近年の聴覚・言語理論の動向と、それに基づく聴覚障害のシミュレーション」 <p>③将来の計画</p> <p>これまでと同様、年に2~4回の頻度で定期的に研究会を開催してゆく。研究会のスタイルとしては新進気鋭の研究者をゲストスピーカーに迎え、最新の研究成果について発表いただき、これをもとに参加者らで議論を行ってゆく。研究会の将来目標は次の二点である。①異なる研究機関に所属する研究者同士の交流の増進を図るとともに、研究者間・研究機関間のネットワーク形成および学術情報の共有の場を提供する。②研究会活動を通して、日本の発達心理学研究における若手研究者の支援と交流の活性化を目指す。</p>		